



自動車の国際認証規格に学ぶ品質 マネジメントシステム

～IATF16949の概要と3つのコアツール～

自動車の開発はこれまで以上に短納期での対応が求められ、不具合の予防、サプライチェーンにおけるばらつきやムダの低減、継続的な改善が求められます。今回は自動車の国際的な品質マネジメント規格であるIATF16949について変更点や概要、国内動向などについて説明致します。

また、IATF16949の5つのコアツールのうち、以下の3つのコアツールに関しては、規格に準拠したツールによる品質向上への取り組み及び効率改善策をご紹介します。

①故障モード影響解析 (FMEA) ②測定システム解析 (MSA) ③統計的工程管理 (SPC)

2024年

開催日時：**10月9日(水) 13:00～16:30**

受講料
無料

<スケジュール>

13:00～13:10 ごあいさつ

13:10～14:00 IATF16949の認証取得と国内の動向

IATF16949規格概要、取得のメリット、最近の傾向、認証取得に向けた取組、2025年1月1日より適用されるIATF審査ルール第6版の一部内容や、ISO9001との違いなどについてわかりやすくご紹介いたします。

講師：SGSジャパン株式会社

ビジネス アシユアランス アシスタントセールスマネージャー 兼IATF16949・TISAXセグメントマネージャー 大島 正統 氏

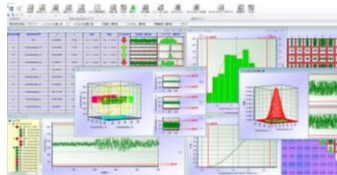
14:10～14:50 故障モード影響解析：FMEA(Failure Mode and Effects Analysis)

故障モード影響解析とは製品、設計、製造工程の潜在的な欠点（故障）を予測し、構成要素の故障モードとその上位アイテムへの影響を解析し、故障発生の可能性を減少させる手法です。

ここでは故障モードの説明とIATF16949に準拠したFMEAツール「APIS IQ」の概要説明とデモをご紹介します。

講師 株式会社アルゴグラフィックス デジタル品質プロセス部 部長 石田 大輔 氏

15:10～16:00 測定システム解析:MSA(Measurement Systems Analysis)と
統計的工程管理:SPC (Statistical Process Control)



測定システム解析とは計測器の精度、測定者によるバラツキを統計的に分析、評価し、適切な計測システムを選択するための解析手法です。ここでは定量的に評価しづらい測定業務や、統計的に管理が必要なデータの入力及び評価業務を効率的に進められるツールについてご紹介いたします。

講師

株式会社アルゴグラフィックス デジタルツイン推進統括部 統括部長 森園 伸太郎氏

16:00～16:30 質疑応答・アンケート

会場：宮城県産業技術総合センター 大会議室

お申し込み方法：下記詳細ページ、もしくは右記のQRコードよりお申込みください。

<https://www.mit.pref.miyagi.jp/?p=22646>



定員：30名

申込締切：2024年10月4日（金）

【主催】宮城県産業技術総合センター 【協力】株式会社アルゴグラフィックス

【お問合せ先】

宮城県産業技術総合センター 島・渡邊 TEL:022-377-8700 / FAX:022-377-8712

E-mail: itim-c@pref.miyagi.lg.jp